

福島第一原子力発電所 港湾口ブロックフェンスの補修完了について

< 参 考 資 料 >
2017年7月13日
東京電力ホールディングス株式会社

< 概要 >

港湾内の魚類出入り抑制対策の一つである港湾口のブロックフェンスの一部が転倒・移動していることを2017年3月1日に確認し、その後、補修工事を実施しておりましたが、2017年7月13日に補修が完了しました。



補修作業の状況



設置作業状況(遠景)



設置作業状況(近景)

【ブロックフェンス】

- ・設置目的: 港湾口からの魚類の出入りの防止対策として設置した刺し網の補助
- ・構造概要: 金属製の枠に金網(フェンス)を取り付けた箱

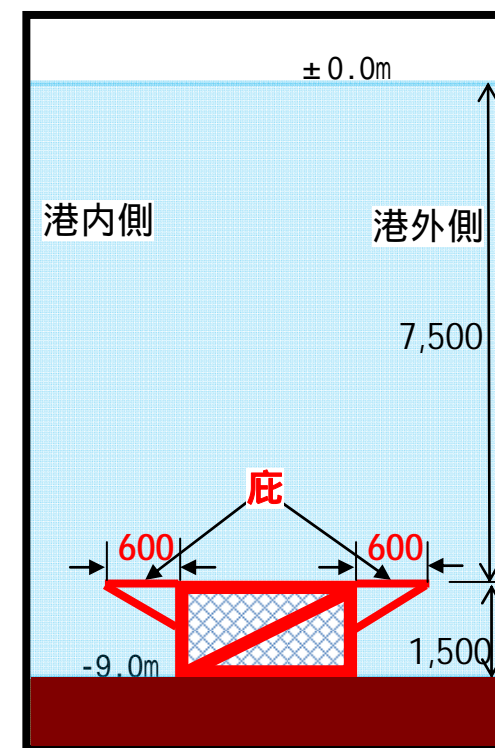
設置概要図

【特徴】

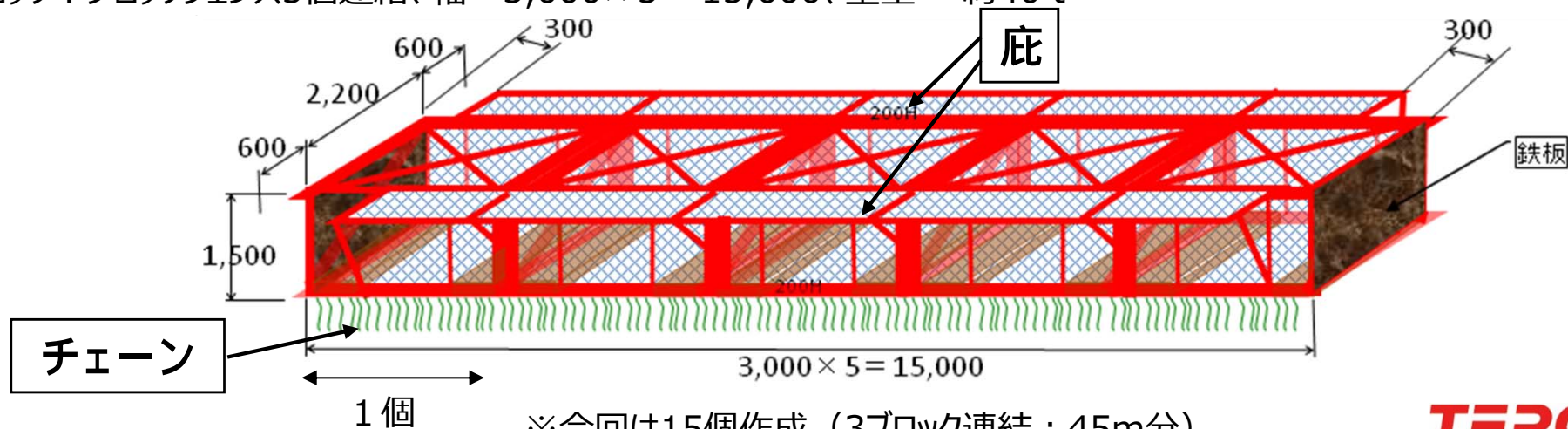
- ①魚のフェンス上部通過抑制のため、港内外側に底を設置する。
- ②魚のフェンス下部通過抑制のため、ブロックフェンス下端に海底部の隙間調整のためのチェーンを設置する。
- ③金網の網目の大きさは、50mmとする。
- ④藻等が付着しにくいよう加水分解系防汚塗料にて塗装する。
- ⑤水深の確保：
大型船舶航行水深確保(港口部の必要水深7.3m)のため、ブロック高さを1.5mとして、水深7.5mとする。
- ⑥耐波安定性：
港口部の高波浪に対してフェンスが移動しないように、フェンス製作に当たっては、鋼材を使用し、重量を確保する。

<寸法・重量関係>

- ・ブロックフェンス 1 個：奥行2,200 (3,400) ×幅3,000×高さ1,500
- ・1 ブロック：ブロックフェンス5個連結、幅 = 3,000 × 5 = 15,000、重量 = 約40 t



(断面図)



※今回は15個作成 (3ブロック連結：45m分)

(参考) 3月1日に確認された状況



正常に着床したブロックフェンスのイメージ



海中のブロックフェンス(底面部が水面方向を向いている)

左写真の赤丸部分と想定される箇所が右写真のように水面方向を向いていることが確認された。